秋田緑ヶ丘病院広報誌

たけのこ

2015 NOVEMBER 11／第27号

医療法人 久盛会
秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川 84 番地
TEL (018) 845-2161 FAX (018) 846-6942
ホームページ http://www.kyusei.or.jp/

日本医療機能評価機構
認定病院

理念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会の一員として貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます

秋田緑ヶ丘病院　秋田県認知症疾患医療センター　除幕式　平成27年10月１日

認知症疾患医療センター開設

センター長　坂本　哲也

10月1日、秋田県から県認知症疾患医療センターの指定を受け稼動を開始しました。ご存知の通り認知症は高齢に伴って発症いたします。秋田県は高齢化率が日本で一番高い県ですので当然認知症の患者さんは多くおられます。その対策は焦眉の急でしたが、長い間秋田県はセンターの空白県でした。ようやく平成25年県精神・リハビリセンターが最初の指定を受け、このたび2番目の疾患センターとして当院が指定を受けました。主に秋田市周辺と県北部を対象としなさいとのことです。この疾患センターの正式な名称は「秋田緑ヶ丘病院　秋田県認知症疾患医療センター」です。

国は認知症対策を国家戦略と捉えております。その理由は平成25年調査によると470万人が認知症患者で、その他に現在は日常生活をこなしているものの、認知機能の軽度低下を認める人を入れると約700万人が認知症関連だと推定されております。認知症は記憶障害を中核症状として、行動・心理症状と呼ばれる周辺症状により、本人およびご家族がとても悩む疾患です。また必ずしも高齢者ばかりでなく若年性認知症の方も大勢おられます。しかし同じ認知症と雖も、治癒可能の疾患もあり鑑別診断も極めて重要です。

センターは専門医療相談、合併症・周辺症状への急性期対応、かかりつけ医等への研修会の開催、認知症情報発信を主たる業務としております。当センターでは認知症への医療目標を、1．生活機能の一日でも長い維持 2．周辺症状の緩和 3．家族の介護負担軽減においております。その上で当院の歴史的財産である精神保健福祉士のソーシャルワークを中心とするワーカー業務として、地域に認知され活動してきた実績をもとにさらに発展・充実させ、地域の認知症患者さん及び家族に希望と安心を与えられるよう努力して参ります。県の指定を受け、認知症専門医、精神保健福祉士2名（専従・専任）臨床心理技術者1名の4人が力を合わせて頑張って参りますのでよろしくご協力お願い申し上げます。

平成27年度 みどりンフェスティバル

作業療法士
安田 朋華

10月17日、毎年恒例の病院祭「みどりンフェスティバル」が開催されました。この時期は天候も不順で、当日まで天気の事ばかり気に掛けていましたが、普段の行いが功を奏したのか（笑）、秋晴れの暖かい日を迎えることが出来ました。

今年は、これまで以上にイベントが目白押しの1日でした。ステージでは、秋田北中学校吹奏楽部の演奏、フラダンス、津軽三味線、西馬音内盆踊りと、音楽と踊りが融合された催し物が行われました。屋外では、模擬店がズラリと並び焼きそばや大判焼、ババヘラアイス等の販売、各専門職員による体験ブースやクローバー就労支援施設による販売と、職員総出となって盛り上げ、屋内外共にたくさんの人で賑わい、患者さんや職員、来院された方々、皆さんがお祭りの雰囲気を味わうことが出来ていたのではないかと感じました。

また今年度初めて、職員によるフォトコンテスト、職員食堂からの〝ヒレカツ定食〟の販売、AED体験ブースと、病院の特徴を活かしたイベントや、病院にいることを忘れさせてくれるようなイベント、両方が体験出来たのではないかと感じます。

天候にも恵まれ、患者さんの楽しそうな表情やイキイキした笑顔、職員や来院された方々の交流、楽しそうな笑顔など様々な場面が今でも心に残っています。

今年もたくさんの方々が来院して下さいました。アンケートにご協力いただき様々なご意見もいただきました。この場をお借りして、来院して下さった方々、演舞を披露して下さった方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。このような企画を通じて、今まで以上に皆様との繋がりを大切にし、楽しんでいただけるよう、精進していきたいと思います。

今年も大盛況でした

西馬音内　盆踊り　灯乃会様

笹川皇人様による津軽三味線

Na Hula Oke Makani Olu様によるフラダンス

クローバー　移動販売

秋田北中学校吹奏楽部様による演奏

栄養相談

健康診断コーナー

模擬店（開店前）

新任医師挨拶

内科医
三浦　邦夫

秋田緑ヶ丘病院に来て1ヶ月たちました。やっとスムーズに目的の場所にたどり着けるようになりました。ここは職員が明るく、だれでも気持ちよく挨拶され、食事がおいしく、いつも花が飾ってある気配りの行き届いている病院だと思いました。私は鉄道趣味いわゆる〝鉄ちゃん〟でそのうちどちらかといえば〝撮り鉄〟です。今年は奥羽本線110周年で記念の列車が走り忙しかったです。また下手なマジックも趣味ですので機会があれば披露したいです。期待しないで待ってて下さい。

精神科医
草薙　宏明

早いもので、10月1日にこちらでの勤務を開始させていただいてから1ヶ月が過ぎました。急性期とその後の治療体制に加えて、県内初となるストレスケア疾患治療ユニットや認知症医療センターも開設され、心神喪失者等医療観察法における指定通院医療機関でもあり、退院後の支援も含めて幅広いサービスを提供している久盛会の医療機関の医師として、身の引き締まる思いで過ごしております。患者さんが健康的に生活できるようになるため、当院の一員として努めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

認知症センター職員自己紹介

精神保健福祉士
古仲　涼子
・精神保健福祉士
・社会福祉士
・介護支援専門員

センターへの相談の際、最初にお話を聞かせていただく相談窓口担当になります。高齢化が進み、認知症を有する高齢者の方が増え、誰でも発症する可能性のある病気です。認知症についてご本人様、ご家族様の不安や困り事があれば、抱え込まずにお話ください。

精神保健福祉士
須田　千夏
・精神保健福祉士
・社会福祉士
・介護支援専門員

相談担当の須田です。センターが始まりご本人だけでなくそのご家族の思いに触れる機会がとても多くなりました。ご家族の葛藤や不安に耳を傾け、ご家族がこれから無理なくご本人に関わっていけるように、社会資源の調整などのお手伝いしていけたらと思います。

臨床心理技術者
渡部　達也
・認定心理士
（日本心理学会）
・精神保健福祉士
・介護支援専門員

主に心理検査を担当しております。認知症の方になぜ心理検査なのか？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、心理検査は認知症状の重症度や進行具合を確認する一つの手法となります。また、現在どういった能力が保たれていて、どのような点が障害されているのかも把握できますので、心理検査を行って得られた情報を支援者で共有し、今後の支援策をより有効なものにできるようお手伝いさせていただきます。

認知症疾患医療センター開設記念講演会

11月4日（水）、秋田ビューホテルにて認知症疾患医療センター開設記念講演会を開催しました。

秋田市内の総合病院、精神科病院、クリニックをはじめ、介護保険関連の施設や事業所などから約100名の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

病院バスが新しくなりました。

長年、患者さんのレクリエーションや職員行事などで活躍してきた病院バス。この度経年劣化などにより新しいバスを取得しました。

新型バスは29人乗りのマイクロバスで、前のバスよりもダウンサイジングとなりましたが、乗り心地なども最新のバスらしく快適です。

くるみん認定式が行われました

10月7日（水）、秋田労働局にて「くるみんマーク」2回目の認定式が行われました。この「くるみんマーク」は次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定・届出し、計画に定めた目標を達成したことなど、一定の基準を満たす場合に労働局長から認定を受けることができます。当医療法人久盛会はこの要件を満たしたことにより、子育てサポート企業として認定を受けました。今後も働きやすい職場作りを推進して参ります。

外来診療のご案内

心療内科・精神科・内科・麻酔科

◆初診の場合

〈受付時間〉午前　8：45～11：30まで
〈受付窓口〉受付・総合案内へ
〈外来診療受付時間〉平日・土曜日問わず受付は午前11：30までにお願いいたします。
〈診療時間〉平日（土曜日は午前中のみ）
9：00～12：00／14：00～17：00
土曜日の診察は「第2・第4」のみ行っています。
但し、救急の場合はその限りではありません。
（午後に予約制による診察を行っています。）
※内科は土曜日休診、麻酔科は平日午後・土曜日休診。
〈必要なもの〉保険証
※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

◆院外処方について

当院では外来の院外処方を行っています。ご不明な点につきましては、外来受付までお問い合わせ下さい。

◆2回目以降受診（再診）の場合は

〈受付窓口〉外来・再診受付へ
〈必要なもの〉診察券と予約券

◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「思春期外来」「もの忘れ外来」「睡眠障がい外来」「てんかん外来」「PTSD外来」「頭痛外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

毎月1回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

クレジットカードでの支払いが可能です

サービス向上の1つとして、診療費等の支払いについては、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA及びMasterCardの4ブランドのクレジットカードがご利用できます。クレジットカードが利用できることにより、支払方法の選択肢が広がるほか、現金の持ち合わせがなくても安心して受診できるようになります。

職員によるダットサン試乗会を開催中です

ダットサンに乗ってみての感想

西3病棟　師長　**柴田　昌子**

クラシックカーに乗るのは初めてで、乗る前から楽しみにしていました。エンジンがかかると、現代の車では考えられないような音がして圧倒されました。

走り出すと、タイヤから伝わる振動がクラシックカーの醍醐味のようなものを教えてくれました。

貴重な体験が出来たことを嬉しく思います。

帰ってから子供に自慢しました！

編集後記

当院の大きなイベントのひとつである病院祭「みどりンフェスティバル」を開催することができました。今年も地域の皆様にお越しいただき、一緒に楽しむことができました。

当院では県内2ヵ所目となる秋田県認知症疾患医療センターが開設し、今後も地域に貢献できますように励んでまいりますので皆様のご指導をよろしくお願い致します。

Q&A

Q ＯＴエリアに漫画本を購入してほしいです。宜しくお願いします。

A ご意見有難うございます。当院では外来図書コーナーをはじめ、ＯＴエリアや待合スペースなど、患者さんが集う場所に本をご用意しています。本の種類としては、医療に関する物や、また、日常生活にお役に立つような情報誌を置いています。そのため、この度のご要望のような漫画本については、患者さん個々の趣向などもあり、現状では購入していません。既存にある漫画本については、職員からの寄付で頂いたものです。ご理解の程、宜しくお願い致します。

Q いつもあたたかい情報誌（広報誌）を送って下さりありがとうございます。患者との面会には、できるだけ足を運んでおりますが、この広報誌で、どんなに元気を、励ましを頂いたことか。

A ご意見有難うございます。入院期間が長期になった患者さんに対しては、季節ごとの行事を企画し、少しでも喜んでいただけるよう、日頃から努力しています。広報誌など通じて、そういった活動がご理解頂けている事について、大変喜ばしく感じます。

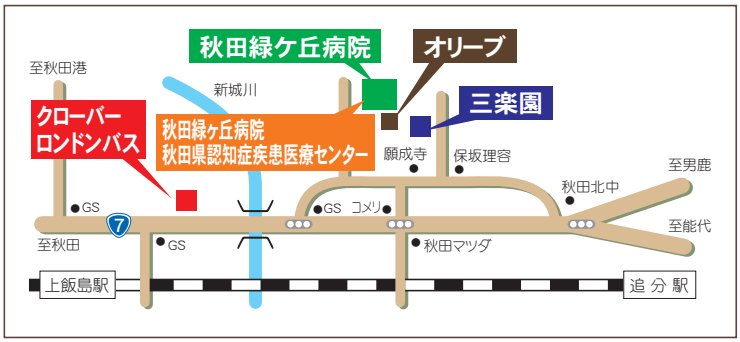
職員や病棟に関するご意見につきましては、各担当責任者が個別に対応しております。病院運営の参考にさせて頂きますので、今後ともご協力宜しくお願いいたします。

こんにちは。新人です！

東1病棟　看護師
石井　理沙

昨年10月に入職し早いもので1年が経ちました。精神科での勤務は初めてであり、患者さんの対応にとまどうこともありましたが、周りの方々に支えていただいて働くことができていると思っております。まだまだ至らないところもあると思いますが、皆さんに貢献できるよう日々精進してまいりますのでよろしくお願い致します。

北1病棟　看護師
泉川　洸

昨年12月8日から北1病棟で勤務し、約1年が経とうとしています。北1病棟は看護学生の時に精神科領域の看護実習で来た時があります。見覚えのある患者さんや病棟スタッフの方々がいて、馴染みやすさがありました。しかし精神科の看護師として働くことは初めてなので、毎日学ぶことがあり病棟のスタッフの皆さんにはアドバイスやご指導を受けて日々業務に励んでいます。

まだまだ経験も浅く学ぶこともたくさんありますが、戦力として貢献できるように、今後も精進していきたいと思います。